

飛騨市“雪国の暮らし安心パッケージ”

市では、昨年度の豪雪による経験を活かし今後の対策を検討するため、全部局による豪雪対策情報共有会議を4月6日に開催し、昨年度の降雪状況の分析と市内で発生した様々な事案等を確認した上で、今後の降雪に対する総合対策を取りまとめました。

1. 昨季の降雪の特徴

- 2月の降雪量が多く、一晩で一度に降った量が多い。
- 3月の気温が低く、融ける量が少ない。

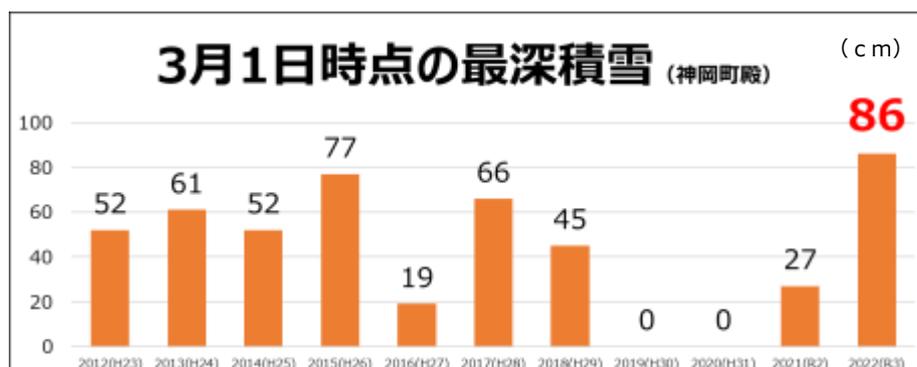
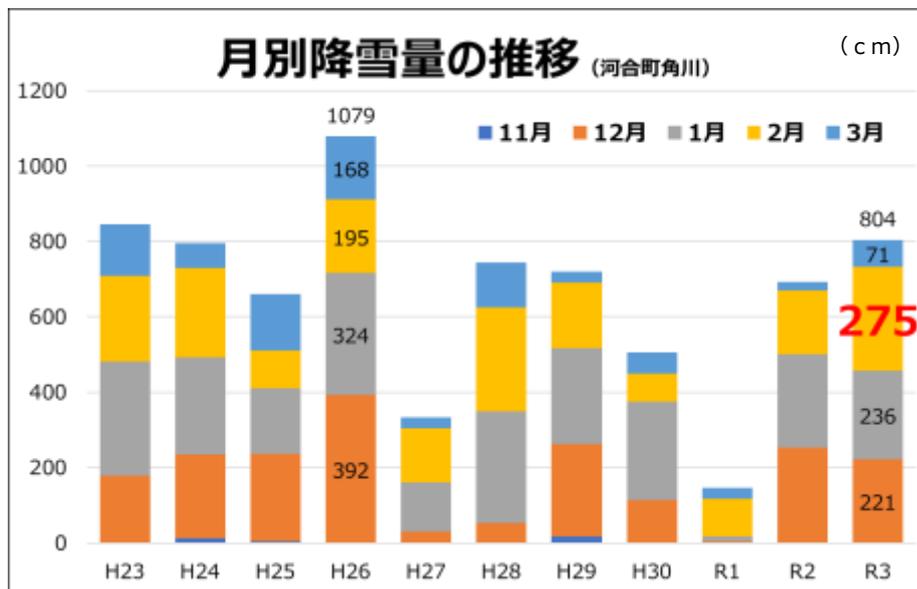
【累計降雪量】 第3位（河合）・第5位（神岡）

【2月降雪量】 **第1位（河合）**・第3位（神岡）

【30cm以上降雪日数】 第2位（河合）

【3/1時点最深積雪量】 第2位（河合）・**第1位（神岡）**

【除雪費】 **第1位（約8億円）**



2. 市内で発生した事案

- **雪下ろしに関する問い合わせが各部局に殺到**（業者紹介や支援制度の問合せ）
- 事業者による雪下ろし対応や費用に関する苦情の増加
- 除雪作業に対する市やオペレーターへの苦情（時間・頻度・道路残雪等）
- 雪が融け始めた頃の市道路面整正の要望多数
- 倒木による道路通行止めの多発（30件）
- 道路通行止めによる公共交通やゴミ収集等の迂回・休止対応
- **長期停電発生に伴う入浴施設の緊急開放**（1件）
- **空家に対する雪下ろしの相談・苦情の増**（落雪の心配・倒壊）
- **果樹の枝折れや農業ハウス等の雪害**（8件）
- JR等公共交通の運休や高速道路通行止めによる宿泊施設のキャンセル
- 農地等堆雪場所の搬出要望多数
- 市有施設の雪下ろしや水道施設への徒歩による巡回監視等の対応増
- 降雪に起因する救急搬送は、交通事故（7件）・転倒等（7件）・**屋根からの転落**（7件）

⇒ 転落事案の詳細（救急搬送の事案であり、自力での受診や軽傷件数は不明）

40代	屋根雪下ろし作業中、高さ約3mの屋根より転落
60代	屋根雪下ろし作業中、梯子より転落（高さ約2m）
70代	屋根雪下ろしをしようと、梯子へ上ったところ転落（高さ3～4m）
80代	屋根雪下ろし作業中、梯子より転落（高さ2～3m）
80代	屋根雪降ろし作業中、軒先が折れ、3階から2階へ（高さ約2.5m）、2階から1階屋根上の積雪へ流れ落ちる様に転落
80代	屋根雪下ろし作業中、高さ2～3mの屋根より転落したものと推測【目撃者なし】
90代	車庫の雪下ろし作業中、高さ1mの脚立から転落したものと推測【目撃者なし】

3. 市の対応方針

- **自助・共助による地域の除雪力アップ**
- **雪下ろし弱者等への支援体制強化**
- **転落等の防止による事故ゼロ**

4. 支援・対策

I 緊急時の対応

① 【新規】条例の制定による落雪危険空家等への緊急対応

(予算：事案発生時に予備費対応)

新たに制定する「飛騨市空家等の適正管理及び措置等に関する条例」に緊急安全措置規定を定めることで、落雪の危険がある空家等の対応や、雪に限らず様々な場面において、市が緊急安全措置を講ずることができるよう例規を整備します。

② 【新規】停電時等における市有施設等の緊急開放

(予算：事案発生時に予備費対応)

大雪や台風による停電、水道供給の停止などにより市民生活に影響が及んだ際に、市有温浴施設等を緊急的に無料開放し、その費用を市が負担することで、安心して休憩、入浴できる環境を整えます。

③ 果樹等農作物の雪害復旧支援

(予算：6月補正予算措置済)

果樹（リンゴ・桃）樹体被害により減収した農家に対し、飛騨市農水産業振興事業補助金を適用し、復旧費の最大80%を支援することで、雪害による果樹生産量減少の回復を図ります。

II 事故の予防

④ 【新規】雪下ろし転落防止用設備の効果検証

事業別説明資料P.3 (予算：500千円)

命綱等を屋根に固定するためのアンカーの設置について、飛騨地域での設置事例が少なく、施工業者のノウハウも蓄積されていないことから、先進自治体等の事例を参考に、市内の雪質や積雪量、屋根形状などの地域特性を踏まえた転落防止設備の効果検証を行います。

⑤ 【新規】雪下ろし等注意喚起リーフレットの作成

事業別説明資料P.4 (予算：165千円)

事故分析による雪下ろし事故の特徴を踏まえ、3つの合言葉（①1人でしない、②はしごの固定、③転落対策）について写真、イラストを使って文字を大きくするなど高齢者に訴えかけるリーフレットとし、併せて雪下ろしに関する市の支援策を掲載し市内全戸配布します。

⑥ **【新規】**雪下ろし注意喚起お出かけ講習会の開催

事業別説明資料P.4（予算：ゼロ予算）

高齢者が集まる行事やイベントの機会に消防隊員や危機管理課の職員が訪問し、雪下ろしを行う際の危険ポイントなどを紹介する講習会を行うことで、高齢者に直接注意喚起を行います。

⑦ 移住者向け雪下ろし講習会の開催

（予算：当初予算措置済）

飛騨市へ移住された方または移住を検討されている方を対象に、屋根の雪下ろしに関する道具の使い方や注意点について建設業者により丁寧に指導する講習会を年に1回無料で開催し、飛騨市での暮らしの不安解消を図ります。

Ⅲ 雪下ろし弱者への支援

⑧ **【拡充】**雪下ろしに関する総合相談窓口の設置

事業別説明資料P.5（予算：400千円）

12月～2月にかけて、屋根の雪下ろし等に関する様々な相談に対応する電話相談窓口をハートピア古川内に設置します。

電話番号：0577-73-6233（ハートピア古川） 受付時間：平日8:30～17:15

⑨ **【拡充】**雪下ろしサポートセンター機能の充実

事業別説明資料P.5（予算：250千円）

異常な大雪等によりサポートセンターによる業者の手配等が追い付かない事態に備え、高齢者世帯等が雪下ろし作業を直接業者に依頼した場合にも助成金を交付することで、センターへの負担の集中を回避し、その機能をバックアップします。

⑩ 高齢者世帯等克雪住宅整備補助金の活用促進

（予算：当初予算措置済+2,500千円）

65歳以上の高齢者世帯や障がいを持つ方の世帯において、自宅家屋の屋根を融雪式や落雪式等の屋根に改修し、雪下ろしの心配をなくそうとする方に対し、その工事費の一部を最大50万円助成します。

IV 自助・共助の促進

⑪ **【新規】**雪下ろし作業請負事業者のリスト化と周知

事業別説明資料P.5（予算：600千円）

雪下ろし作業請負事業者を募集し、リストを作成して広く市民に周知します。また、雪下ろし作業中の事故に備えた損害賠償責任保険への加入を奨励するため、リスト掲載を希望する事業者に対し、1年度につき1万円の奨励金を交付します。

⑫ **【新規】**行政区等による雪下ろし等の共助活動支援制度の創設

事業別説明資料P.6（予算：1,000千円）

行政区等（自治会、認可地縁団体を含む）が人足を出し合い地域内の住居の雪下ろしを行った場合に、地域助け合い除雪支援交付金を1団体につき最大5万円（年度上限）を交付します。

⑬ 道路除雪サポーター制度の推進

（予算：当初予算措置済）

生活道路等の除雪活動を行う市民・団体を除雪サポーターとして登録し、除雪機械の燃料費（実費相当額）や安全対策用品を支給するとともに、ハンドガイド式小型除雪機等の購入を最大10万円補助します。

<問合せ> 企画部 総合政策課 0577-73-6558（直通）